

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成19年6月28日(2007.6.28)

【公開番号】特開2006-334440(P2006-334440A)

【公開日】平成18年12月14日(2006.12.14)

【年通号数】公開・登録公報2006-049

【出願番号】特願2006-258665(P2006-258665)

【国際特許分類】

A 6 1 B 3/16 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 3/16

【手続補正書】

【提出日】平成19年5月11日(2007.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被検眼角膜を変形させるために角膜に対して気流を吹付ける気流吹付手段と、角膜に測定光を投影し角膜が気流により変形され所定の曲率半径になったときの前記測定光の角膜反射光を検出し眼圧値を求める測定手段とを備え被検眼の連続測定を行う非接触式眼圧計において、所定眼圧値を設定する所定眼圧値設定手段と、前記測定手段で求めた眼圧値と前記所定眼圧値とを比較する比較手段と、該比較手段の結果に応じて前記測定手段の連続測定動作を停止する制御手段とを有することを特徴とする非接触式眼圧計。

【請求項2】

前記眼圧値設定手段は設定する前記所定眼圧値を任意の値に変更可能としたことを特徴とする請求項1に記載の非接触式眼圧計。

【請求項3】

前記眼圧値設定手段は第1の所定眼圧値と第2の所定眼圧値を設定可能としたことを特徴とする請求項1に記載の非接触式眼圧計。

【請求項4】

前記比較手段は前記測定手段により求めた眼圧値が前記第1の所定眼圧値よりも大きいかどうかを比較し、前記第2の所定眼圧値よりも小さいかどうかを比較することを特徴とする請求項3に記載の非接触式眼圧計。

【請求項5】

前記制御手段は前記比較手段の結果を操作者に通知することを特徴とする請求項1に記載の非接触式眼圧計。

【請求項6】

前記制御手段は前記比較手段の結果を表示手段に表示することにより操作者に通知することを特徴とする請求項5に記載の非接触式眼圧計。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記目的を達成するための本発明に係る非接触式眼圧計は、被検眼角膜を変形させるために角膜に対して気流を吹付ける気流吹付手段と、角膜に測定光を投影し角膜が気流により変形され所定の曲率半径になったときの前記測定光の角膜反射光を検出し眼圧値を求める測定手段とを備え被検眼の連続測定を行う非接触式眼圧計において、所定眼圧値を設定する所定眼圧値設定手段と、前記測定手段で求めた眼圧値と前記所定眼圧値とを比較する比較手段と、該比較手段の結果に応じて前記測定手段の連続測定動作を停止する制御手段とを有することを特徴とする。